

この子らを世の光に

— “幻の名作”と伊勢真一監督最新作 同時上映 —



『やさしくなeni』



『夜明け前の子どもたち』

「この子らに、世の光を」ではなく、「この子らを世の光に」。

日本の障がい者福祉の父、と呼ばれる糸賀一雄氏が遺した言葉です。障がいのあるこの子らの生きる姿こそが世の光になる、という信念で50年前に糸賀氏監修のもとで製作されたのが療育記録映画『夜明け前の子どもたち』。そして、伊勢真一監督が35年の歳月を撮り続け、2017年に完成したのが、障がいのある姪っ子奈緒ちゃんとその家族の記録『やさしくなeni～奈緒ちゃんと家族の35年～』です。

この二本の映画が語りかける、「この子らを世の光に」——今こそこの言葉がめざす世界を受けとめたい。

プログラム1
上映

11:00 (開場10:45)

上映 『やさしくなeni
～奈緒ちゃんと家族の35年～』

(伊勢真一監督・2017年・110分)



『奈緒ちゃん』の続編
伊勢真一監督の最新作

上映後、
伊勢真一監督の
舞台挨拶あり

チケット料金：1,500円
パンフレット付きチケット：2,500円

プログラム2
上映+トーク

13:45 (開場13:30)

上映 『夜明け前の子どもたち』
<トーク> (柳澤寿男監督・1968年・120分)

玉村公二彦さん (奈良教育大学教授)
伊勢真一 (『やさしくなeni』監督)

<資料>

書籍 発達のひかりは時代に充ちたか?

療育記録映画『夜明け前の子どもたち』から学ぶ
(トークゲスト・玉村公二彦さん共著)



チケット料金：2,000円

資料(書籍『発達のひかりは時代に充ちたか?』)付きチケット
：4,700円

ヒューマンドキュメンタリー映画館 日比谷とは・・・

温かさ・優しさだけでなく、人間のさまざまな側面を感じられる映画、それがヒューマンドキュメンタリーです。そんな作品をもっと観てほしい...という思いから、東京のど真ん中・日比谷で年に4回のヒューマンドキュメンタリー映画館を開催しています。「感じ」、「思い」、「考える」時間がここにあります。

— お問い合わせは「いせフィルム」まで — TEL.03-3406-9455 FAX.03-3406-9460

※「ご予約優先」です(万一満席の場合はご予約のお客様を優先させていただきます)
※ご予約の際は ①予約者名 ②人数 ③プログラム名 ④(複数ある場合)チケット券種を
お知らせください。

※小学生以下、障がい者の方は500円割引いたします。

主催：いせフィルム クロスフィット エンサイクロメディア 協賛：



協力：MOCプロジェクト ヒポコミュニケーションズ ジョングラフィック

www.isefilm.com

